

平成 31年 07月 22日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成31年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 県産材100%住宅『よこての森を育む家』

グループの名称 『よこての森を育む家』普及推進協議会

直近採択グループ番号 07-0025-0095

(グループ代表者)

代表者名 下夕村 正樹 代表者印
代表者所属先 三又建設株式会社
代表者所在地 秋田県横手市山内三又字落合10番地1
代表者電話番号 0182-32-4706

(グループ事務局)

事務局事業者名 三又建設株式会社 横手本店
事務局担当者名 高荒 宏一 印
事務局郵便番号 013-0041
事務局所在地 秋田県横手市大沢字西野25
事務局電話番号 0182-32-4706
事務局FAX 0182-32-4719
事務局担当者E-mail takaara@cs-mitsumata.co.jp

グループ基本情報・事務局体制・グループ構成

グループ名称	『よこての森を育む家』普及推進協議会			
H30採択グループ番号	07	—	0025	— 0095

グループの基本情報

1. 地域型住宅の名称(必須)	県産材100%住宅『よこての森を育む家』			
2. グループの名称(必須)	『よこての森を育む家』普及推進協議会			
3. 結成年(必須)	2012	年		
4. グループHPの有無(必須)	無			
5. グループHPのURL(有の場合必須)				
6. H30採択グループ番号(必須)	07	—	0025	— 0095
7. グループの特徴	<p>柱材に120mm角以上の乾燥秋田スギ認証製品を100%使用する。また主要構造材(柱・梁・桁・土台)に乾燥秋田スギ認証製品を50%以上使用する。下地材・造作材は乾燥秋田スギ認証製品を70%以上使用する。乾燥秋田スギ認証製品に関しては横手市産材50%以上を目標とする。雪下ろしや排雪等の冬期作業の負担軽減に配慮した安心安全な家(風除室の設置等)を設計する。また、地域材が使用されていることが付加価値として実感でき、木肌の温もりを感じられる内装を提案する。</p>			
8. 代表者氏名(必須)	下々村 正樹			
9. 代表者の所属先(必須)	三又建設株式会社			
10. 代表者所在地(必須)	秋田県横手市山内三又字落合10番地1			
11. 代表者電話番号(必須)	0182-32-4706			
12. 事務局事業者名(必須)	三又建設株式会社 横手本店			
13. 事務局担当者名(必須)	高荒 宏一			
14. 事務局郵便番号(必須)	013-0041			
15. 事務局所在地(必須)	秋田県横手市大沢字西野25			
16. 事務局電話番号(必須)	0182-32-4706	17. 事務局FAX番号(必須)	0182-32-4719	
18. 事務局担当者E-mail(必須)	takaara@cs-mitsumata.co.jp			

グループの事務局体制

19. 事務局業務の外部委託の有無	無	20. 委託先業者名	
21. 専任担当者の配置の有無	無	22. 委託先担当者名	
23. 担当者連絡先(携帯電話)	---		
24-1. 事業者の認定申請サポート体制の有無	無	25-1. サポートを行う認定申請名	
24-2. 事業者の認定申請サポート体制の有無		25-2. サポートを行う認定申請名	
24-3. 事業者の認定申請サポート体制の有無		25-3. サポートを行う認定申請名	
26. グループ内情報共有手段の有無	無		
27. 情報共有の手段			

グループの構成

構成員	構成員数	構成員に含まない理由
I. 原木供給	2	
II. 製材・集成材製造・合板製造	2	
III. 建材流通 (木材を扱わない事業者を除く)	4	
IV. プレカット	3	
V. 設計	3	
VI. 施工	11	
VII. 木材を扱わない流通	1	
VIII. I～VII以外の業種	2	

使用する地域材・要望戸数・申請実績

グループ名称	#VALUE!				
H30採択グループ番号	07	—	0025	—	0095

使用する地域材

対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下の1、2、3、4の番号を番号記入欄に表記。	番号	国内・国外
□ 合法木材証明制度を利用する	国産材	1. 都道府県の産地認証制度等によるもの 2. 民間の第三者機関による認証制度 (FSC、PEFC、SGEC等) 3. 林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(H18年2月)」に基づき合法性が証明されるもの 4. クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品 (合法伐採木材等証明)	3	国内
□ 合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
□ PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国外
□ PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
□ SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
□ FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
□ FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
□ FIPCC認証制度を利用する	国産材		2	国内
□ クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
□ クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外
乾燥秋田スギ認証製品	秋田県	乾燥秋田スギ認証制度	1	国内

今年度の希望戸数

タイプ	経験/未経験	要望戸数	内、地域材加算	内、三世代加算	
B. 2019年度における補助対象の木造住宅の申請要望戸数 (必須) (地域材加算要望戸数、三世代同居対応加算要望戸数は内数を記載)	長寿命型 長期優良住宅	経験工務店 (4戸(8戸)以上) の申請戸数	今年度、交付申請の要望をする戸数(上限100万円) 5戸	5戸	1戸
		10月31日までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円) 2戸	2戸	0戸	
	未経験工務店 (4戸(8戸)未満) の申請戸数	今年度、交付申請の要望をする戸数(上限110万円) 3戸	3戸	1戸	
		10月31日までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円) 1戸	1戸	0戸	
認定低炭素住宅	経験工務店 (4戸(8戸)以上) の申請戸数	今年度、交付申請の要望をする戸数(上限100万円) 2戸	2戸	0戸	
		10月31日までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円) 1戸	1戸	0戸	
	未経験工務店 (4戸(8戸)未満) の申請戸数	今年度、交付申請の要望をする戸数(上限110万円) 0戸	0戸	0戸	
		10月31日までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円) 0戸	0戸	0戸	
	高度省エネ型 性能向上計画認定住宅	経験工務店 (4戸(8戸)以上) の申請戸数	今年度、交付申請の要望をする戸数(上限100万円) 0戸	0戸	0戸
			10月31日までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円) 0戸	0戸	0戸
		未経験工務店 (4戸(8戸)未満) の申請戸数	今年度、交付申請の要望をする戸数(上限110万円) 0戸	0戸	0戸
			10月31日までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円) 0戸	0戸	0戸
	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店 (4戸(8戸)以上) の申請戸数	今年度、交付申請の要望をする戸数(上限125万円) 0戸	0戸	0戸
			10月31日までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円) 0戸	0戸	0戸
		未経験工務店 (4戸(8戸)未満) の申請戸数	今年度、交付申請の要望をする戸数(上限140万円) 0戸	0戸	0戸
			10月31日までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円) 0戸	0戸	0戸
優良建築物の申請棟数		交付申請が確実に	0棟	0㎡	

平成30年度の実績

C. 平成30年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)	採択額 540 万円	交付申請額 0 万円	完了実績(竣工予定含む)額 0 万円
	高度省エネ型	採択額 110 万円	交付申請額 0 万円	完了実績(竣工予定含む)額 0 万円
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)	採択額 0 万円	交付申請額 0 万円	完了実績(竣工予定含む)額 0 万円
	優良建築物型	採択額 0 万円	交付申請額 0 万円	完了実績(竣工予定含む)額 0 万円
D. 前年実績 (達成・未達成) に対する理由	例年グループ採択後からの補助金使用募集を行うと計画から施工が冬になり、秋田県横手市では冬期間は積雪が1メートル以上になり、施工実施時期が4月以降になってしまいます。その為、毎年度4月以降の実績報告を行っていました。しかし平成30年度は使用計画はありましたが、当初交付申請・実績報告が年度内となり利用できませんでした。今年度は採択前からの利用検討し、年度内報告するように改善します。			

